

愛媛県ノーリフティングケア 普及啓発モデル事業実践報告

医療法人社団久和会

介護老人保健施設 ふなき久和園

佐伯成敏（介護福祉士）

岡部宏之（介護福祉士）

篠原貴子（介護福祉士）

和木健一（作業療法士）

施設概要

(従来型)


介護老人保健施設 **ふなき久和園**

- 所在地 愛媛県新居浜市船木
- 開設 平成 9年 9月
- 入所(利用)定員 80床
(2フロア、ショートステイ含む)
- 通所リハビリステーション
定員 40名

事前アンケート対象者

- 職員数 27名
(・介護18名 ・看護9名)






応募理由

- ・腰痛や身体的負担を訴える職員の増加
- ・身体的負担による離職者の存在
- ・力任せの介護による利用者様への心身の影響



改善目標

- ・職員の腰痛や身体的負担の軽減
- ・介護技術のスキルアップと介護人材の確保
- ・利用者様が安心・安全に生活できる環境作り



取組み内容

- ・事前アンケートの実施
- ・ノーリフティングケア推進委員会立ち上げ
（福祉用具の導入物品の選定、取組み内容の検討）
- ・ノーリフティングケアについての勉強会
- ・研修への参加〈個別研修（講師による勉強会）〉
- ・福祉用具の活用状況と事例
- ・事後アンケート結果
- ・今後の取組みについて

職員の状況・職場環境等

令和4年8月現在（導入前）

□ 職員数（入所棟のみ）

- ・介護職員 18名 ・看護職員 9名

□ 福祉用具・機器の所有状況

- ・ベッド 80台〈内訳〉高さ調整機能付き 17台（手動）

高さ調整機能無し 63台

（介助バー所有 10台）

- ・車いす 71台

〈内訳〉スタンダード 44台 リクライニング 3台

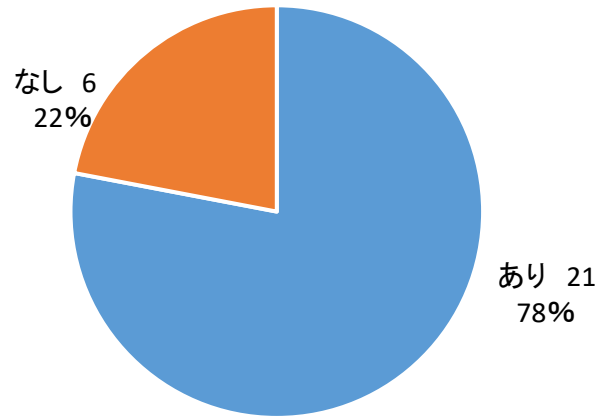
モジュール 16台 ティルト & リクライニング 8台

- ・スライディングボード 1枚

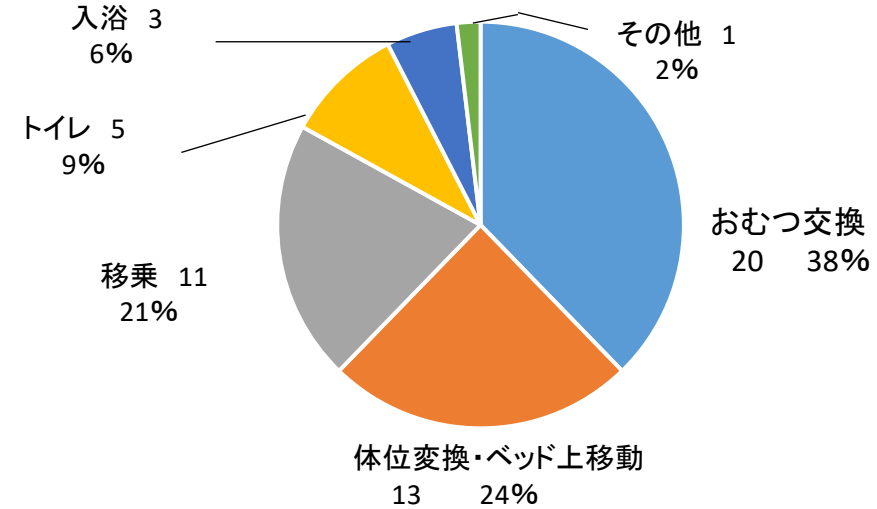
- ・マルチグローブ 2組

導入前(腰痛に関する)アンケート結果

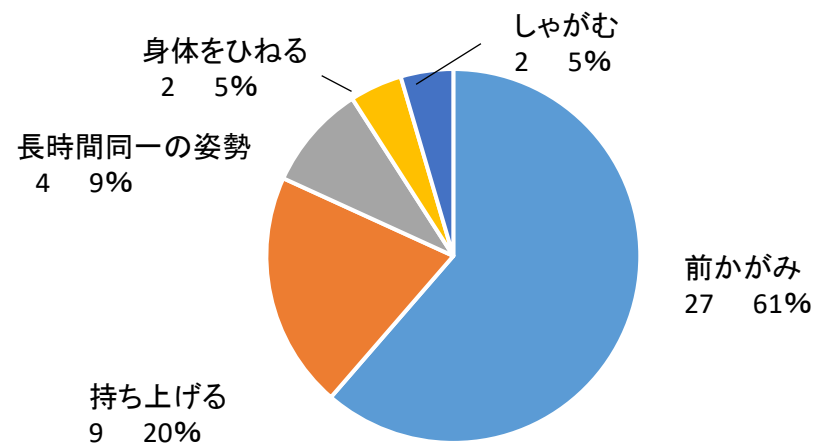
腰痛の有無



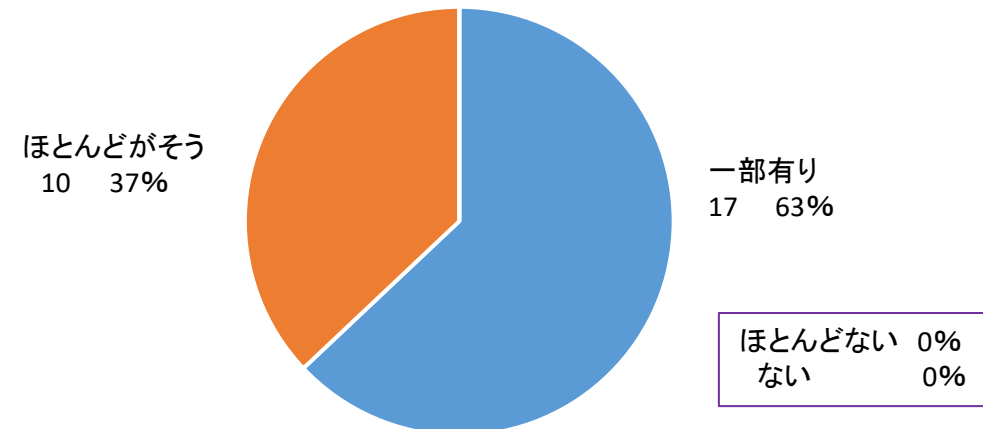
負担の大きい介助場面



負担の大きい介助姿勢



持ち上げや引きずり介助はあるか

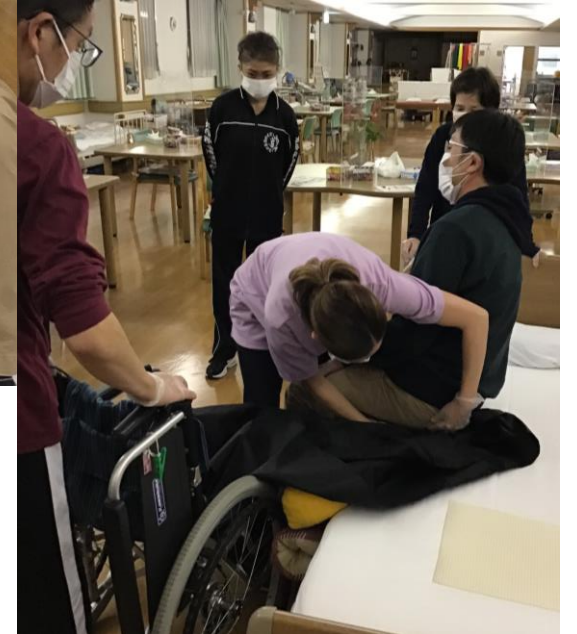


ノーリフティングケアについての勉強会



(ズレ体験)

R4.10.5. ノーリフティングケアとは



R4.11.15. 福祉用具の使い方

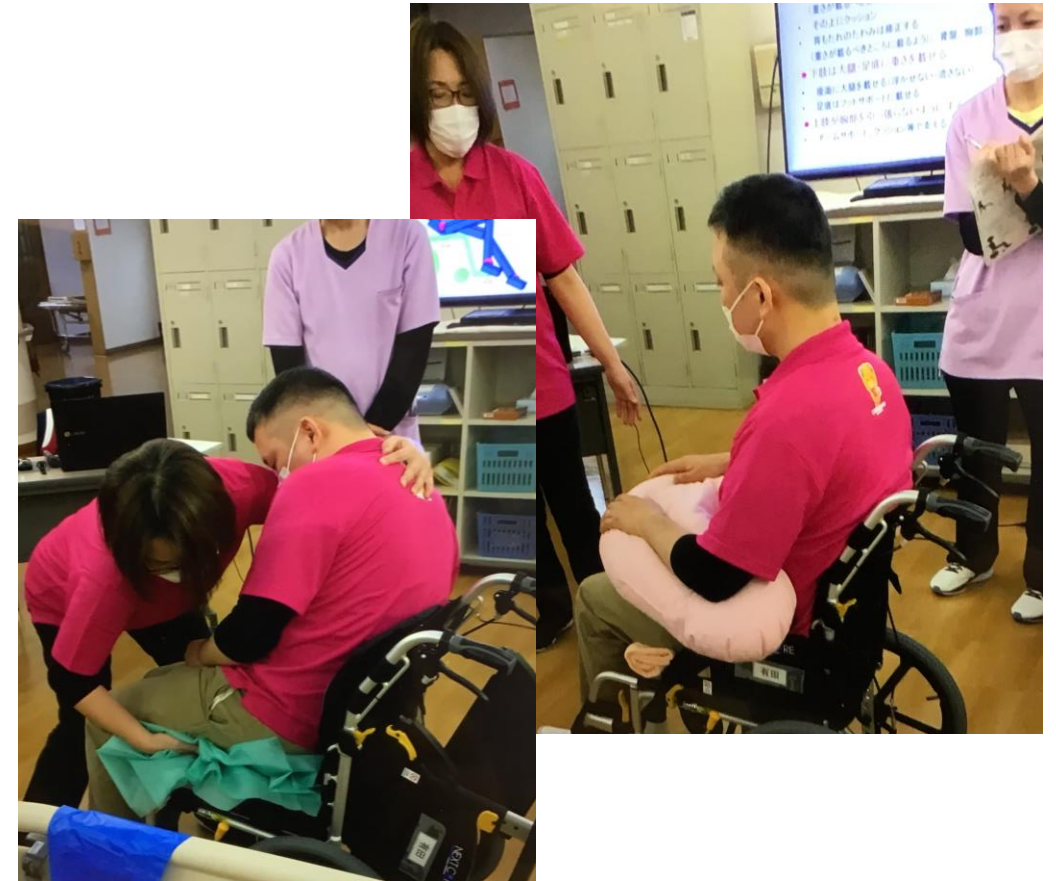
・全体研修 令和4年9月8日

・アドバイス研修 令和4年10月27日
(特養みどりの郷 様にて)

・個別研修(講師による勉強会)



利用者の安心・安全「姿勢の見方」
令和4年11月24日



利用者の安心・安全「姿勢の整え方」
令和5年2月16日

福祉用具の導入物品の選定

新しく購入した福祉用具

(R4.11.11.入荷)



スライディ (モルテン)
1 枚

ターンテーブル
メーカー都合で未入荷



移座えもんシート
M 2枚 ML 2枚



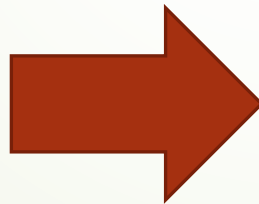
マルチグローブ
2 組

取り組み内容の検討

腰痛予防の取り組み（ベッド上での介助）

- ・ 高さの変わるベッド（手動）の活用ができていない
（ハンドルを回すのが面倒でそのまま使用していた）

➡ 経管栄養の方、体重のある方等に高さ調整できる
ベッドを使用して高さ調整を行なうようにした



**おむつ交換での
前かがみの姿勢が
軽減できるよう
になった**

福祉用具の活用



スライディングシート
2人介助での移乗
ベッド⇒リクライニング



スライディングボード
移乗介助
ベッド⇒車いす



事例 1. Nさん（74歳）女性 要介護 5



**リクライニング
⇒ベッド**

今までは2人介助で抱えて移乗していたが
スライディングシートを使用し2人介助で
滑らせて移乗するようにした

**壁に介助手順を
掲示した**



**持ち上げないので
余分な力を使わず
楽に介助できる**

事例 2. Tさん（82歳）女性 要介護5

ベッド⇒車いす
スライディングボードを
使用しての移乗



下肢に内出血ができることが多かったが
移乗方法を変えてからはできなくなった

事例 3. Yさん（95歳）女性 要介護3



臥床時の
ポジショニングを
指示して実施する

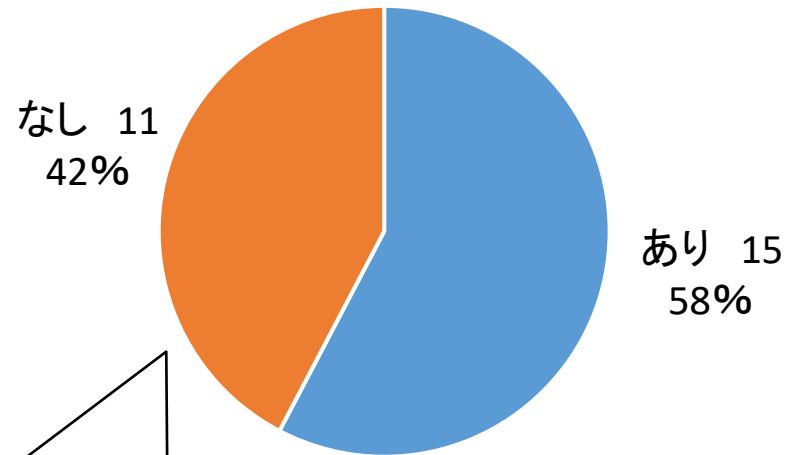


体動が激しい方で 体交は行なっていなかった
12月初め活気がなくなり食欲低下、拘縮も進む
R5.1.21. 左肩に褥瘡が出来てしまった

数日後から身体が伸び始めてくる
おむつ交換が行いやすくなった
現在は 食欲回復、褥瘡も治癒している

導入後アンケート結果 1

腰痛の有無

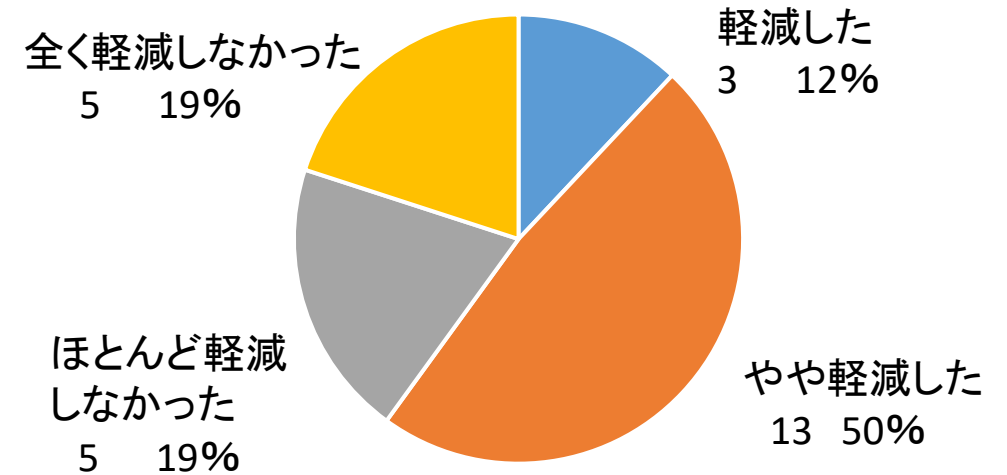


腰痛が無くなった 5名

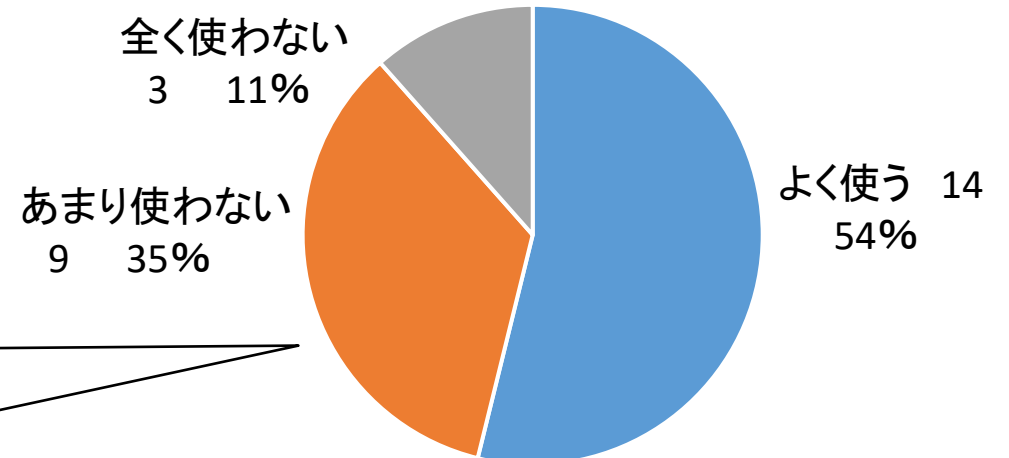
約半数の職員があまり活用出来ていない

- ・使うのに時間がかかる
- ・取りにいくのが面倒
- ・使うのを忘れてしまう

身体的負担について

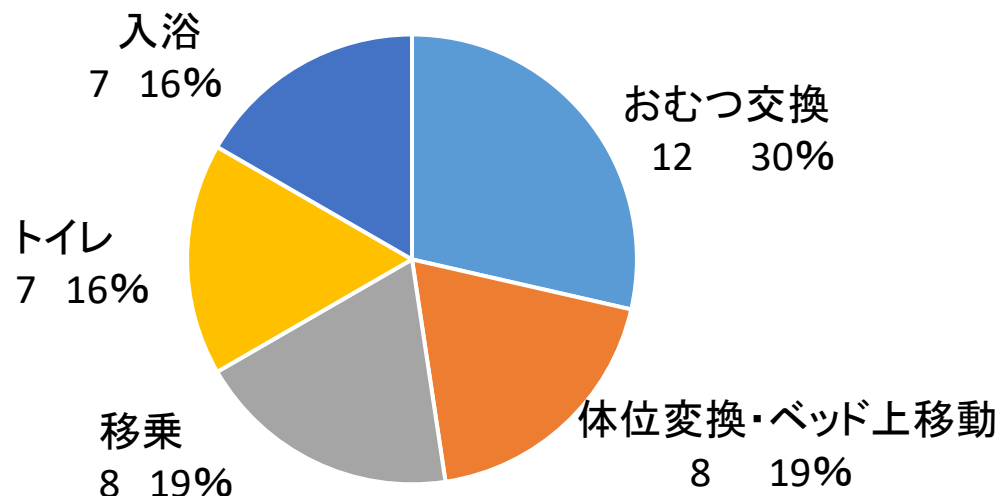


福祉用具の利用状況



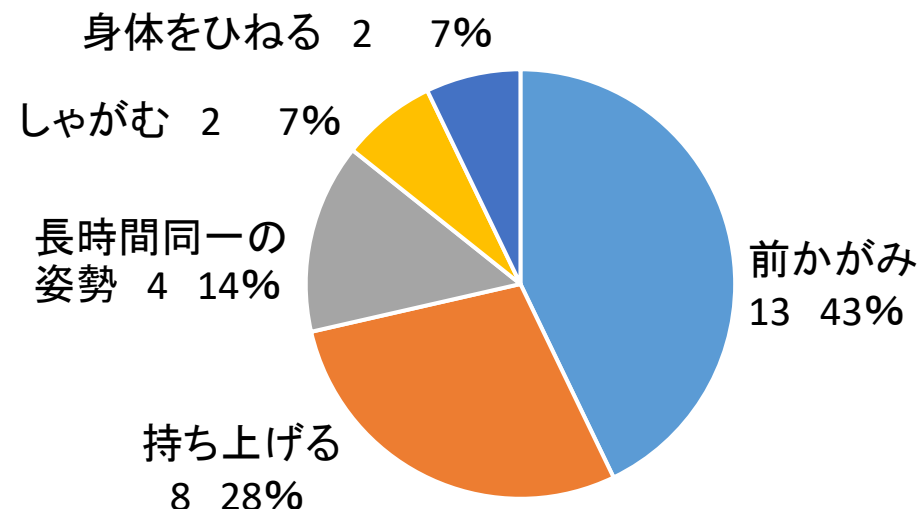
導入後アンケート結果 2

負担が大きいと感じる介護場面



ベッド上移動・おむつ交換・移乗の負担が減少
トイレ・入浴介助での負担が増えた

負担の大きい介助姿勢



高さの変わるベッド(17台)を活用する事で
前かがみの姿勢は減少したと考えられる

昼夜ともおむつ交換対象者 37名

今後の取組みについて

- ・ トータルセーフティケアの考えを持ち 24時間で物事を見ていき
ポジショニングなどの技術の向上を目指していく
(ノーリフティングケアの意識を全職員が持てるようにする)
- ・ 福祉用具を活用し職員の腰痛予防や負担軽減に繋げていく
(必要な福祉用具の追加導入も検討していく)
- ・ ノーリフティングケアを進めるために業務改善を行い無駄をなくして
取り組みやすい環境をつくる
- ・ ノーリフティングケアを普及するためには電動ベッド導入の必要性が
あり 20台の購入を検討している (必要な人を選定し活用する)
- ・ 現在は一部の入所者の方にしか行えていないので、他の入所者の方
にも それぞれに合った福祉用具を活用出来るようにしていく



ご静聴ありがとうございました。